

緑窓

RYOKUSOUKAI



青山学院中等部緑窓会会報
2016年(平成28年)5月1日発行
青山学院中等部緑窓会 発行人 松元 茂
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
TEL / FAX : 03-3498-5387
E-mail : ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp
web site : http://www.ryokusou.net/

参加することに意義がある

中等部緑窓会会長 松元 茂(16期)



いよいよ8月からブラジルのリオデジャネイロで夏季オリンピックが開催されます。柔道・体操・レスリング・水泳・バドミントン・卓球・サッカー・ラグビー・バレーボール等でメダルが期待されています。オリンピックはメダルを争うことも大事ですが、何と云っても「参加することに意義がある」の精神が大切です。

今、緑窓会は中等部の新校舎建設事業で、新しいチャペルにパイプオルガンを設置するための資金、1億円の募金活動に取り組んでいます。この募金活動もオリンピックと同じように「参加することに意義がある」と思います。今年は緑窓会の年会費、2年で2,000円を納入する年ですが、ぜひこの機会にチャペル募金1口10,000円以上をご検討いただきたいと思います。少しずつ募金は集まっていますが、まだ目標を達成するにはより多くの皆さんの協力が必要です。同期会、クラス会の折には皆さんで寄付のお声掛けをしていただきたいと思います。この募金事業が成功したら何と素晴らしいことでしょうか。21世紀に輝く中等部生を育む礼拝で響き渡るパイプオルガンの設置にご協力ください。

なお、緑窓会費2年で2,000円の払込みも引き続きお願いします。



切り絵 千輝克忠先生

第27回「緑窓会の日」

実行委員長 伊藤 敏也(27期)



「丘の上の教会へ昇る石畳 春は桜の花びら手のひらに受けて昇る・・・ああ懐かしい教会へ今日こそみんなで帰ろう」(讃美歌第二編189番)

6月4日(土)「緑窓会の日」実行委員長を務めます27期伊藤敏也です。当日は、お世話になった笹森先生に説教をお願いして、青学講堂で礼拝を執り行います。

講演は、高等部27・28期で作家、エッセイストとして活躍中の岡田光世さんが「ニューヨーク的生き方のすすめ」という題でお話しします。私自身彼女のファンとして愉しみにしています。

茶話会では懐かしい面々、先生方と再会し、親睦を深めていただければ幸いです。

現在中等部校舎は建替え中で、かつての面影がなくなりつつあります。当時のアルバムをめくってみると、女子は可愛く、男子は幼さの残る顔をしています。成長の過程において、一番感受性が強く、心も体も大きく成長した中等部3年間だったのかなと、思いを馳せています。

中等部ホームカミングデーにふさわしい日にするべく、27期幹事一同で準備を整えています。「ああ懐かしい教会へ今日こそみんなで帰ろう」。お待ちしております。

第27回 「緑窓会の日」映像とトークで綴るニューヨーク散歩

日時 2016年6月4日(土) 13:30~16:40
場所 第1部 青学講堂 第2部 女子短期大学地下食堂
参加費 3,000円 青山学院在校生は無料

— プログラム —

第1部 13:30~14:15 礼拝 説教：笹森建美(元中等部宗教主任)
14:30~15:30 講演 「ニューヨーク的生き方のすすめー日本人の心の扉を開くー」
岡田光世(高等部27・28期)

第2部 15:40~16:40 茶話会

《同期会サポートのご案内》

今年も緑窓会では、中等部卒業後10年(58期)、20年(48期)、30年(38期)を対象に同期会をサポートします。6月4日に同期会が行えるように、アイビーホール青学会館の予約、先生への案内はがきの作成などをします。これをきっかけに緑窓会の活動に参加されることを期待します。

どんな生徒が礼拝で育つの？

中等部部長 敷島 洋一

千日の修行ではない。たかが毎日の15分の礼拝である。それほど生徒に影響を与えるものだろうか。讃美歌を歌い、聖書を開き、話を聞く。たったの15分。聞きたい話を聞くのではない。歌いたい歌を歌うのではない。形が大切だとはいえ、生徒にはつまらないことではないか。中学生は思春期の真っ最中。柔らかい心が傷つかないように、よろいをつけて歩いていく。先生はお説教するのが得意。お前のために言ってやってるんだぞと叱られる。つつおきながら、心の中では大人を信用するものかと思っている。

ところがうっかり油断するのか、よろいの隙間からたまに素直な目目のぞく。形を大切にという礼拝。乗りたくもないのに指定席特急券をもらって電車に乗っているようなもの。所在無げに、つまらなくしていると、車窓に現れる思いがけない光景。海に夕陽がきらめいていたり、山の端が朱く縁どられていたり。つい魅入られてしまう。同じように、お仕着せの礼拝ながら、聖書の言葉が飛び込んでくることもある。聖書の言葉は種。少しずつ芽をだし若い心に根を張っていく。

礼拝の時間はふだんの勉強と対極にある。「人は土の器」(コリントⅡ4章7節より)。陶工が土をこねて形を作り乾燥させ長い時間をかけて焼くように、促成ではできない。礼拝堂の空間と時間が醸成するのは心豊かな、人間らしい人である。礼拝が毎日の習い性になるとき、それが自分の血肉になっていくのだ。



中等部新礼拝堂募金委員会委員長 前緑窓会会長
崎田 克巳(14期)

パイプオルガンの調べを初めて聴いたのはバッハの「トッカータとフーガ」だったと思います。いきなり心にグサッと突き刺さるような出だしの響き、それから始まる右手、左手、さらに脚鍵盤との掛け合いによる複雑な旋律が舞い、小学生だった私は「音」という魔法で打ちのめされ、厳粛な感覚に囚われました。パイプオルガンとの出会いでは皆さんも同じだったのではないかと思います。

青山学院の名誉教授であった奥田耕天先生が中心となって、40年前に創立した日本オルガニスト協会というパイプオルガン奏者の団体があります。500人を超えるオルガニストが加入していますが、その1割が本校を巣立ったオルガニストです。特別な音楽教育をしているわけでもないのに、なぜそんなに大勢のオルガニストが育っているのでしょうか。生徒は毎日奉げられる礼拝に欠かさず出席して黙想し、他人を思いやる心を養い、その心の奥底に美しい讃美の旋律が流れたからでしょう。

今、建学150周年を祝う準備のもと、中等部も新たな60周年のスタートとするため校舎と礼拝堂を建設中です。皆様からのご支援としてご寄付を募り、本物のパイプオルガンの響きを礼拝堂に贈りたいと思います。生徒たちの毎朝の礼拝がより厳かで心に響く場となることを祈って。

～緑窓会の一年～ 2015年度

5月30日(土)第26回「緑窓会の日」を開催しました

26期が担当し、青学講堂で行われました。礼拝は笹森建美先生の司式のもと鈴木有郷先生による説教がなされ、静かで穏やかな時間を持ちました。短大食堂で暫し茶話会を楽しんだ後、再び青学講堂で「踊りとトーク」の公演が行われ、「継承」と「伝統」というテーマで歌舞伎役者の市川染五郎さんと松本金太郎さんが登場。前半は染五郎さんと中等部ダンス部が共演し、ゆかた姿のダンス部員とテンポの速い現代的な踊りを披露しました。後半は染五郎さんと金太郎さん親子が「連獅子」を舞い歌舞伎の伝統芸を演じ、舞踊の合間には染五郎さんのトークもあり、華やかな中に親しみのある楽しい集いになりました。



箱根駅伝優勝記念セレモニーにて

9月23日(水・祝)「グリーンフェスティバル」 青山珈琲と100%フレッシュオレンジジュースを販売。公開講座は「体育教師が切り絵を創る」講師は千輝克忠先生。

10月11日(土)中等部運動会 3学年の優勝クラスと男子3,000m走、女子800m走の1、2、3位の選手にマフラータオルを贈呈しました。

11月7日(土)中等部祭「ジュビリーブズ式典」 7期(ダイヤモンド)、17期(ゴールデン)、42期(シルバー)の方々が表彰され、記念の盾とマフラータオルが贈呈されました。

2016年1月2日(土)3日(日)箱根駅伝応援 (京浜急行立会川駅付近) 3日は沿道での応援後「吉田家」そば店でゴールまで応援。往路1区から復路10区まで一度もトップを譲らず完全優勝。2連覇達成。

昨年のラグビーワールドカップで、日本代表チームが強豪南アフリカに歴史的勝利を挙げスポーツ紙の一面を飾ったことは記憶に新しいことと思います。今回は、そのラグビー日本代表を支える若きGM(ゼネラルマネージャー)の岩瀨健輔さんに中等部ラグビー部OBの松元茂緑窓会会長と向笠晴久さん(共に16期)と一緒にお話を伺いました。 【インタビュー 濱中浩子(20期) 大石由美子(22期)】

今のお仕事はどういうことですか？

…ラグビーの15人制日本代表チーム(男子・女子)とオリンピック種目の7人制チーム(男子・女子)とU20(20歳以下)の5つのチームを担当して強化しています。コーチを決めたり、予算を決めたり、どうやって強化しようかと決めるのが私の仕事です。

昨年後半からのラグビーの人気をどのようにご覧になりますか？

…今回注目されたのは、代表チームが南アフリカという強いチームに勝ったためです。選手やスタッフの努力が報われてよかったと思う反面ベスト8に入るという目標が達成できず、応援してくださいとくださった方には申し訳ないです。その後7人制が男女それぞれオリンピック出場を決めて、それがスポーツ紙や一般紙の朝刊一面に載ったときは、4年前には思いもよらなかった事で驚きましたが嬉しかったです。

青山学院初等部から大学まで、ずっとラグビー部で活躍なさったそうですが、中等部のラグビー部はいかがでしたか？

…楽しくやってきましたね。練習は週2回ぐらいで下校時間が早かったです。グラウンドも高等部と一緒に、しかも野球部、サッカー部、ラグビー部が同時に使っているのでも狭かったです。そういう限られた時間とスペースでどうやって練習するか、皆で考えながらラグビーをしていました。でもそれが今の自分の仕事にいい形で影響していますし、そういう時間がありがたかったと思います。

試合の成績は良かったですか？

…目標にしていた東日本大会や関東大会にも出場しました。中3のときに東日本大会で対戦した相手チームに外国人のコーチがいて、それにビビって負けてしまったという、ちょっと苦い思い出もあります。

高等部、または大学に進学なさるとき、他のラグビー強豪校に進学するという気持ちはなかったですか？

…なかったですね。海外の学校や、他校に推薦で行くことも考えましたが、決断は難しくなかったです。多分、出会った先生方、指導者、友人など、周りにいる人たちが自分にとってありがたい存在だったので、今の環境で過ごせてよかったという思いが強かったのだと思います。大学を卒業してイギリスに留学したときも、青学で学べてよかったということが多かったです。

それはどのようなところですか？

…強制されることがなく、大きな形で見守ってもらえたというか、包んでもらう形で指導も教育もしてもらいました。イギリスで世界中から来たいろいろな人たちの考え方を柔軟に受け止めることができたのも、青学で過ごしてきたからだと思います。

これからの夢は？

…今まで仕事をしながら、50年後の公園でどんな姿でラグビーをしている子どもがいるだろうと考えていました。最近はラグビーボールを蹴っている子や五郎丸のまねをしてサッカーボールを蹴っている子が増えました。いろいろなスポーツを芝生のグラウンドで皆が楽しんでいるような状況が生まれるといいなと思います。2019年のラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックと、ラグビーにとって大事な5年間を迎えます。この5年間がこの先の50年を決めると思うので、いい時間になるようにしたいですね。

ラグビーの魅力をお話してください。

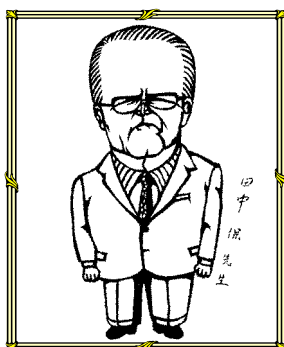
…ラグビー憲章の中に、「camaraderie 深い友情」という言葉があります。試合前も試合後も相手に敬意を払い、終わった後は深い友情で結ばれるということです。ワールドカップで南アフリカに勝った試合でも、日本代表のジャージを着ている人の隣で南アフリカのジャージを着ている人が応援していて、終わった後に握手をしていました。それがラグビーのいいところです。私も初等部のときから、どんな相手に対しても敬意を払ってプレーしなさいと教えてもらいました。私が初等部、中等部で戦った選手たちとは今でも交流があります。そういうところがラグビーの大きな魅力ですね。



大きな形で見守ってもらいました

岩瀨健輔さんプロフィール
1975年生まれ。青山学院初等部3年よりラグビーを始める。青山学院中等部、高等部、青山学院大学国際政治経済学部卒業。ケンブリッジ大学社会学部修士課程修了。大学卒業後は、神戸製鋼、ケンブリッジ大学、サラセンス(英)、コロミエ(仏)等で選手として活躍。日本代表としてもワールドカップに出場、ケンブリッジ大学ではパーシティーマッチに出場、サラセンスでは日本人初のイングランドプレミアシップ出場を果たした。2012年からは日本ラグビー協会日本代表GMに就任し、2015年ラグビーワールドカップにおける日本の躍進、2016年リオデジャネイロ五輪男女出場権獲得に貢献した。

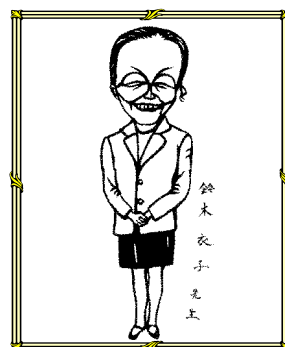
千輝克忠先生製作の切り絵 ②



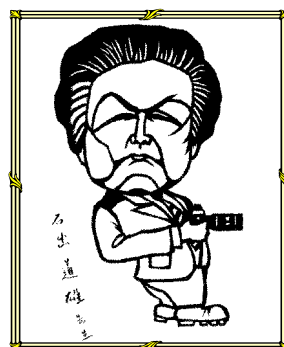
田中保先生



平間健夫先生



鈴木衣子先生



石出道雄先生

2016年度人事

部長	敷島 洋一	[退職]	真藤 純一 (教諭・国語)
教頭	浦田 浩		1973年4月～2016年3月
宗教主任代行	シュー土戸ポール		橋本 都美子 (教諭・英語)
教務委員長	上野 亮		1973年4月～2016年3月
指導委員長	林 謙二		西田 恵一郎 (教諭・聖書)
将来構想委員長	筒井 祥之		2005年4月～2016年3月
1年学年主任	小田 文信	[新任]	池田 麻友子 (国語)
2年学年主任	朝野 圭三		加藤 孝一郎 (理科)
3年学年主任	津村 裕子		姜 福順 (英語)
			藤田 真実 (英語)



建築中の新校舎(2016年2月撮影)
来年はどうなっているでしょう？

2015年度収支計算書

自 2015年4月1日 至 2016年3月31日
金額：円

支出の部		金額
科目		
会報発送費		1,392,801
会報制作費		929,664
事業費	「緑窓会の日」	2,044,141
	同窓祭	122,569
	中等部Jubilees	295,330
	同期会サポート	40,560
渉外費		74,417
会議費		179,281
交通費		352,080
通信費		184,684
水道光熱費		12,000
慶弔費		11,340
事務用品費		203,746
寄付金		174,328
駅伝寄付		200,000
中等部指定寄付		200,000
支払手数料		750
HP制作・管理費		129,600
支出合計		6,547,291

収入の部		金額
科目		
入会金(卒業生)		762,000
維持会費		1,918,000
「緑窓会の日」会費		2,328,000
同窓祭事業収入		154,100
寄付収入		80,000
駅伝寄付収入		88,469
預金利息		1,329
収入合計		5,331,898

前年度繰越金	10,993,730
当年度収入合計	5,331,898
当年度支出合計	6,547,291
当年度収支差額	▲1,215,393
次年度繰越金	9,778,337

会長 松元 茂/副会長 富士野ゆかり
会計 小平昌邦、西本由里子/監事 今村和久、崎田克巳
《定例役員会の報告》

2015年5月16日に第1回、2015年12月5日に第2回定例役員会が開催されました。詳細は、緑窓会室までお問い合わせください。

2016年度 緑窓会行事予定

- 6月4日(土) 第27回「緑窓会の日」・同期会サポート
- 9月22日(木祝)「グリーンフェスティバル」に参加
- 10月8日(土) 運動会で緑窓会賞(マフラータオル)を贈呈
- 11月5日(土) 中等部祭「ジュビリーブ式典」
「緑窓会の部屋」開設
- 6日(日) 中等部祭「緑窓会の部屋」開設
- 1月2日(月) 箱根駅伝応援 往路(京急立会川駅付近)
- 1月3日(火) 箱根駅伝応援 復路(同上)

同期会をしました…

- ◇18期E組クラス会 6月6日 記事 窪寺幹夫
- ◇2期傘寿の会 7月1日 記事 高砂雄一
- ◇13期3年E組クラス会 10月3日
- ◇5期中・高等部喜寿の会 11月11日 記事 壺村美恵子

写真、記事の詳細は、緑窓会ホームページをご覧ください。
来年取り壊されてしまう懐かしい校舎を訪れませんか。
2017年3月頃まで、同期会またはクラス会を行う時に校舎内に入ることができます。希望される会の幹事の方は緑窓会室にご連絡ください。

緑窓会期幹事になって

はやま てった
坡山 哲大(67期)

僕は、この中等部の3年間でたくさんの経験や友達との思い出ができました。この思い出が10年後やそれ以上の時間がたっても忘れず楽しく語られることができるように努力していきたいです。よろしくお祈りします。



やまむら りょう
山村 綾(67期)

この度、67期緑窓会幹事をさせていただきましたことになりました、山村綾です。中等部のこの校舎で過ごした3年間の思い出をふり返り、この仲間たちの繋がりをこの先も大切にしていきたいと強く思いました。よろしくお祈りいたします。



Help! ボランティア募集

緑窓会の行事は年々活発になっています。「毎週火曜日」午後だけなら「毎週は無理だけど月1回なら」「行事当日だけなら」など、どのような方法でも結構です。PCが得意な方、編集に興味のある方、何か手伝ってくださるお気持ちのある方、緑窓会室までご連絡をお待ちしています。

